

2015年第3回定例研修会報告

滋賀森林インストラクター会

日時 2015年9月13日(日) 9:00 集合、
場所 高島市八淵の滝(ガリバー青少年旅行村から八淵の滝「大摺鉢」のコース往復)
参加者 小西、佐々木、関澤、梶谷御夫妻、平田御夫妻、吉井絢子、高橋 以上9名
(梶谷、平田両御夫妻の奥様と吉井さんは一般参加)

第3回研修会は『日本の滝百選』にも選ばれている八淵の滝。その名の通り8つの淵が連なる名瀑ですが、台風11号の影響により登山道の一部が崩落し、ガリバー旅行村から大摺鉢の間以外のコースはすべて通行禁止のため、大摺鉢までのコースの往復で自然観察を実施しました。参加者は会員外の女性3名を含め9人、華やかで楽しい観察会になりました。



コースはカエデ類など種々の樹々が植栽された森林公園からはじまり、八淵の滝の登山路に続きます。果実の実り、紅葉など秋の兆しを感じられる森ですが、今回の主役はきのこ。ここ数日雨が多かったせいか、いたるところできのこが観察できました。菌類に疎い筆者ですが、きのこ図鑑を一通り拾い読みするように、様々なきのこに触れることができた今回の研修会でした。

それでは、写真を中心のグラフィレポートとして以下に報告します。



コースの入口でナツハゼの実



透かし模様



大きなきのこに遭遇：ニンギョウタケ(食)



ウチワタケ？

続々と、きのこを発見。



シロソウメンタケ(食)



カバイロツルタケ(食)



タマゴタケ(食)



クサウラベニタケ(毒)?



ドクツルタケ(猛毒)



シロオニタケの仲間(毒)



ベニイグチの仲間



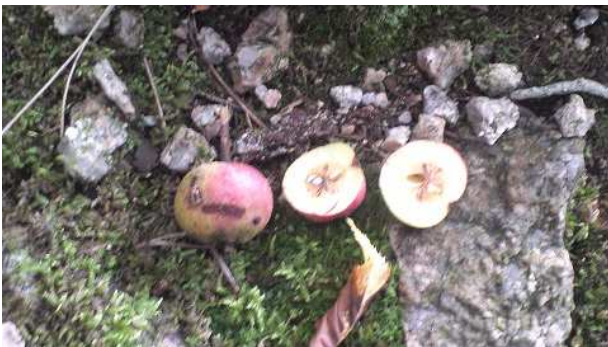
ベニタケの仲間?

実りの季節



登山路の入口にヤマボウシが熟した実をつけていて、参加者の皆さん甘い実を味わっていました。残念ながら筆者は、中途半端な甘さでアボガドのような食感が苦手です。

ほかにもいろいろな果実を観察することができました。



オオウラジロノキの実



ウラジロノキの実



ツチアケビの実



ツチアケビの実（断面）



ナンキンナナカマド



ミヤマガズミ

さらにきのこ



ツエタケ(食)



シロオニタケの仲間



コナカブリベニツルタケ



ホウキタケの仲間



クチベニタケ



ホコリタケ



ホコリタケの断面 成熟(左)、未熟子実体(右)

紹介したきのこはほんの一部。写真に撮らなかったきのこも多数あります。森を豊かにする菌類たち。あらためて、その多様性を実感する研修でした。

(報告：高橋)